

2010年度第一回 理事・正会員会議 議事録

平成 22 年 6 月 15 日(火) 14:00-17:30

議題：

1. 観光庁の『通訳案内士のあり方に関する検討会』による指針についての討議

昨年より石井理事に AISO の代表として参加いただいていた通訳案内士あり方に関する検討会が今年終了しました。最終的な法改正は、来年 1 月に実施は再来年 4 月になるとの観光庁による見解ですが、現存の通訳案内士法から抜本的な改革が行われる見通しです。原則的に通訳案内士は、名称のみ残し、誰でもガイドとして就業することが出来るようになるとのことです。AISO として、他の団体よりも先んじて独自の認定制度を確立し、早期の導入を検討することになりました。

A) ガイド規制緩和に対する ASIO 認定制度についての説明

AISO の認定制度については、AISO 認定ガイド推進委員会を設置し、梅村常務理事、石井理事、岡本理事、増田理事の 4 名と研修機関の代表として正会員のトラベル&コンダクターカレッジ 次田統括本部長で今後の対応を進めて行くことになりました。AISO にしかできない実務研修実施など独自性を高めまずは日本在住ガイドの質の向上を図るべく活動していくことで意見が一致した、将来的には海外在住のガイドに対しても要件を満たせば認定して活用していくことも議題にあがりました。

B) 観光庁・JNTO への今後の取組について

今後も積極的に関与して観光立国を目指すことで会員の理解の一致を見ました。

AISO の認知度を高め大手旅行社の会員拡大を図っていくことを進めることにいたしました。

2. 中国個人査証緩和に係わる AISO の取組みについて

個人旅行者への取組みとして、コールセンターを事務局に設置することや、ボランティアガイドの育成を図っていくことなどのインフラ整備を進めることで一致した。この件については AISO 推進部会が担当いたします。

3. ブラックボックス（免税店他）を解明してツアー経費の圧縮を図れるか検討

王理事長の主導により AISO の正会員、賛助会員の協力の元に日本向けインバウンドの主導権を在日本の旅行会社、ランドオペレーターに戻す取り組みをスタートすることになりました。

具体的には AISO としてショッピング契約を取り決めて会員と恩恵の共有を図っていくこと。

ブラックボックスという名称をもっと紳士的な名前に変えること（AISO シンクタンク等）を決めました。

4. ASIO 担当部会の再編

従来 5 部会制度に対し目的を絞って 3 部会体制にて活発に活動していくことにいたしました。

政府機関担当部会+観光ガイド担当部会を 1 部会にまとめ政府機関・観光ガイド担当部会（仮称）として部会長を梅村専務として部会ごとに集りを持つこと。

旅行コンテンツ改革推進部会と全国自治体インフラ整備部会を 1 部会にまとめ訪日旅行改革・整備検討部会（仮称）として部会長を王理事長として旅行会社、宿泊施設、観光施設、土産店が一体となった受入事業の推進を図ることとした。

AISO 事業推進担当部会は上記 2 部会と連携しながら、AISO の認知度の向上を図り事業の発展と会員の増大を目指していくことになりました。

5. ASIO の法人名・所在地・役員変更について都庁・法務局提出に係わる動議

法人名・登記簿記載事項変更などは6月で任期満了となる理事を7月7日の総会で新たに決めてその後進めていくことになりました。

6. 7月7日 総会の議題と進め方について

冒頭の1時間は理事・正会員会議で理事選出とその他総会で発表することを討議して、総会での決議を速やかに行い、その後のアジア最新情報提供や商談会に時間を割いていくことで合意しました。

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成22年6月15日

事務局長 吉田 建
理事長代行 王 一仁
常務理事 梅村 文峰